



**第24号のてるまさ通信では「賃貸住宅における安全対策」について紹介致します。**

賃貸住宅を運営されているオーナー様は、所有アパートの安全面について、気になることだと思えます。アパートの所有者は、入居されている方が安心して生活できる場を提供しなければなりません。例えば、建物の維持管理（老朽箇所があれば修繕・設備に不具合があれば修理します）が最も重要ですが、ゴミ出し場や駐車場についても安全管理が必要になってきます。

### 「ネクストライフてるまさ」より

肌寒くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？  
「食欲の秋」・「読書の秋」・  
「スポーツの秋」と、楽しくお過ごし下さい。



### ☆ゴミ集積所の管理は安全管理に直結している。

■ゴミには個人情報満載  
どの地域でも決まった曜日に出すゴミですが、建物によってはゴミ回収の日でもくても置くことのできるスペースがあるものです。入居者だけが入れられる場所であればいいのですが、見知らぬ人が入れられるような場合は問題があります。ゴミにはあらゆる個人情報があるため、他人に知られたくないことまで知られてしまう恐れがあるのです。

### 【ケース1】

会社員の若い女性が暮らしているアパートの1階奥には、いつでも自由にゴミを出せる集積所があります。ゴミ回収の日の朝に出すことが望ましいとはかかっていても、忙しい朝は時間に追い立てられてしまうので、いつもでも出せるという点も気に入って、入居を決めたのでした。

女性が不審な出来事に気づいたのは住み始めてしばらくでした。帰宅してしばらくすると携帯電話に無言電話がかかってくるようになり、番号非通知の電話を受け付けないようにすると電話はなくなり、誰かに見張られているような感じがしてとても薄気味悪いものでした。

郵便受けにはいつも鍵をかけていたが、「ゴミを捨てるときに過去のいらなくなつた電話料金の請求書等をそのまま捨てたことを思い出しました。誰かがゴミを見たか持ち去ったのだとは思えませんでした。」

■ゴミは個人を特定できるものが数多くあります。ダイレクトメールや郵便物、宅配便の伝票などからは氏名・住所・電話番号などが知られます。

クレジットカードの明細書らはどこでどんな買い物や食事をしたかも分かります。何気なく捨てるレシートからは、どの店にいつ何時頃行って何を買っているかも知られます。また、葉の箱や袋、包装紙などからはかかっている病院や病気の内容まで判明してしまうのです。

つまり、ゴミはその人の個人情報そのものであるともいえます。他人に知られ

たくない情報「ゴミは、氏名や住所などは判読できないように油性ペンで黒く塗りつぶしてからシュレッターにかけたりはさみ等で細かく千切るなどしてから捨てること」が原則です。女性の着等は切り刻んで生ゴミに紛らせて捨てている人も多いようです。

### ■ゴミ集積所の具体的な安全対策

#### 【ケース2】

あるマンションのゴミ集積所は誰でも入れる構造になっていました。ゴミの回収日の前夜には、どこからともなく住人ではない人が現れて、特に資源ごみや使えそうなものを持ち去ります。

女性などは夜間にゴミを出しに行くとき誰かがいる場合があるので、知らない人と鉢合わせるのも自分のゴミと知られるのも嫌だからと不安を訴えています。自分が出すゴミを誰か探るかもしれないと考えるだけでもいい気はしないものです。

また、資源ごみは自治体によっては持ち去り不可となっている場合もあります。個人情報の宝庫でもあり、資源でもあるゴミは回収されるまではその場所の安全性が確保されるべきです。

気休めの貼り紙だけでなく、入居者以外の立ち入りを禁ずる具体的な対策を考えましょう。

### ■入居希望者に積極的に見せられる場所

入居を考えている人には、室内だけでなく「集合郵便受け」や「ゴミ集積所」も必ず見てチェックするように伝えていますが、これは、共用部分の管理体制を知る為に不可欠なことです。これらの部分の管理がきちんとされているかどうかで、建物全体の管理状況が分かるいっても過言ではないほどで、分譲マンションではよく「管理を買え」といわれるほど、建物の管理は重要です。

エントランスや通路、エレベーターだけでなく、「ゴミ集積所」がいつも清潔で整理整頓されていることは賃貸物件においても大切です。管理がしっかりしている物件は安全や安心も得られるはずで

（全国賃貸住宅新聞より一部抜粋）

格好い猫が夢に現れて、「こうして格好の置場を作ったら、きっと店は繁盛する」と告げ右手を上げて人を招くようになり、夢とは思いながらも「招き猫」を作らせて店に置いてみることにした。ところが、大儲けの縁起物という伝説もありません。そこから、商売繁盛の縁起物になったというのです。いづれにしても、昔から猫は、化け猫伝説もあるくらい、不思議な魔力を持つ動物と考えられてきました。また、中国から猫が渡来した際、「猫面を洗って耳を過ぎれば即ち客到る」との言葉も一緒に伝えたといわれています。このあたりに招き猫伝説のルーツがあるといえます。ちなみに一般的には、右手を上げて招く猫は金運を、左手を上げて招く猫は客運を呼び込むといわれています。

この招き猫の由来については諸説があり、一般的に広まっているのは豪徳寺（東京都世田谷区）にまつわる逸話です。ある日、徳根藩主の井伊直孝が鷹狩りの帰りに、この寺の門前まで来たときのこと。一匹の白猫が現れ、右手を上げて、しるりに寺内に招くので、直孝は誘われるように境内に馬を乗り入れた直後に激しい雷鳴とともに門前に落雷があったというのです。危うく災難を逃れることが出来た直孝は、その後、荒れ果てていたこの寺に莫大な寄進をし、さらに井伊家代々の菩提寺としたといえます。なお、このとき右手を上げて直孝を招き入れた猫の墓は、現在豪徳寺の墓地の一角に猫観音として供養されているとのことです。また現在も、幸運を呼び込む招き猫伝説の元祖として、門前ではいろいろな張り子の猫が売られています。また別の説では、浅草で駄菓子屋を営んでいた老婆が、あまりに流行らないので店を閉めようかと考えていたある夜の

ためになる

## 「日本人のしきたり」

### ～ 招き猫 ～

猫が商売繁盛に結びつくのはなぜか

よく飲食店や小料理屋などで、招き猫の置物を見かけます。商売繁盛の置物として、招き猫が、金運やお客を呼び込むと考えられているためです

